



宣言

新しい時代となり熊本市が復興する中で、家庭・学校・地域の相互理解と連携はこれまで以上に重要になっている。私たち大人が積極的にPTA活動に参加しその責任を自覚するとともに、子どもたちが思いやりやあふれた人間に成長するよう、熊本市PTA協議会の名のもとに、下記のとおりPTA活動を推進することを宣言する。

記

- 一、命の大切さを理解し、人のいたみがわかる心をもった子どもの育成に努める。
 - 一、家庭でのコミュニケーションを促進し、自分の夢をしっかりと持ち、自ら学び行動できる主体性を持った子どもの育成に努める。
 - 一、私たちも地域社会の一員としての自覚を持ち、共に学び育つために、地域活動及びP.T.A活動を実践し、安心で安全な環境の整備に奔走する。

令和元年6月1日

令和元年度 熊本市PTA協議会役員



役員・三役		役職名	所属	名前	区	学校名
役員・三役	会 副 会 長	長	松島雄一郎	南	田迎西小	
		健安	佐藤 準一	中央	本荘 小	
		広報	松本 知樹	東	東野 中	
		総務	林田 将希	西	城山 小	
		厚生	橋口 健二	南	日吉 小	
		教養		北		
市P担当副会長 部会長		厚生	日高 加寿美	南	富合 中	
会 計 理 事	会 計 理 事	健安	岩崎 宏昭	中央	大江 小	
		厚生	井手 和宏	南	城南 小	
		健安	及川 雅恵	中央	桜山 中	
常任 理事	専門委員会委員長 常任理事	広報	田中 哲郎	東	錦ヶ丘中	
		総務	吉山 智之	西	井岸 中	
		厚生	倉田 茂明	南	力合西小	
		教養	西本 彰文	北	龍田 中	
		広報	福島 隆弘	東	西原 小	
		総務	中村 幸香	西	小島 小	
監 事	常任理事	教養	松崎 雅人	北	桜井 小	
		健安	岡崎 淳司	中央	砂取 小	
		広報	嘉悦 奈津子	東	東部 中	
		総務	今村 吉宏	西	花陵 中	
		教養	田中 敦朗	北	北部東小	
		山本 健次	西	城西 中		
参 与	青少年教育課 指導課 小学校長会 中学校長会 青少年教育課	富田 和弘	北	田底 小		
		水町 美延				
		松島 李司				
		福田衣都子	南	錢塘 小		
		浦邊 亮一	中央	帶山 中		
		主幹兼主査	小原 恵二			
事 務 局	指導主事	中山 和臣				
		森川 和恵				

。子どもたちにことごとく、住みよい世の中になるよう祈るばかりです。

今年度から熊本市PTA協議会の会長を務めさせていただきます、南区にいじりであります田迎西小学校会長の松島です。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。熊本市PTA協議会も今年度70周年を迎へ、その歴史の重さに対し大きな責任を実感しております。

会長あいさつ



熊本市PTA協議会
会長 松島雄一郎

命や精神を脅かす存在となつてゐるよう思えます。また、子どもたちだけではなく大人の環境においても複雑さが増し、「時間労働や様々なハラスメントなど、多くの問題を抱えており、世の大人が疲労」「憊しているよう」にも感じます。さらにその状態が、子どもたちの環境悪化の要因ひとつになつてゐるのではないかでしょうか。

そのような状況において、我々保護者は、どのようにして子どもたちや学校支えていくべきか?「ご意見は様々だと臣いますが、一番大事なのは、我々が保護者同士、あるいは先生方や行政、そして地域としつかり協力することだと考えます。「協力」とは、よく耳にする言葉ですが、そこに不可欠なのは相互理解、すなはち相手を思いやる気持ちだと思ひます。私見ですが、今の時代の大人たちはその気持ちが希薄のように思えてなりません。かく言う私自身も、振り返れば反省すべき点が多くござります。相手はその気持ちが優しい気持ちが、子どもたちを悩める大人を救うことができるかもしれません。寛容な気持ちをもつて周りと力をすることができる組織、そんな熊本県PTA協議会でありたいと思います。

来年十月に開催される「九州ブロック少年大会」など、主催行事を実行しますが、並行して子どもたちはもちろん、保護者の皆様や先生方の心が豊くなるような活動も行ってまいりたいと思います。引き続き、「ご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

札幌市内協議会 視察について

熊本市P.T.A協議会

団の方々が画図小へ視察に来られました。

札幌市P協議会は熊本市と比べて10区に分かれおり、規模も熊本市の倍近くあり（因みに熊本市5区）会員数も含めて規模が違ったため、参考になるかと心配しましたが、ちょうど視察に来られた2ヶ月前に北海道胆振東部地震が発生しておましたので熊本地震の際の避難運営や経験を話せていただきました。

また、PTA活動や地域との繋がりは手前味ではあります、うちの学校は地域との関わりなどの学校にもひけを取らないと自負がありますし、生徒数一千名を超えるマンモス校にも関わらず保護者の協力がとても多く、活気あるPTA活動ができており、何より「みんなで楽しみながらやる」というスタンスを一人でも多く認識してらうため、日々努力している言を伝えました。

基本は札幌市P協議会の方からの質問に対し

話していませんでしたが、札幌市P協議会はすべてオートロックになつており保護者を含めてインター ホンを鳴らしてではないと校舎内に入れないなど、地域性もありますがその辺はびっくりしたところもあります。

しかし、他県のP.T.Aとの情報交換は初めてでしたのが勉強になるところが多く、よい経験をさせていただいたと思います。

未だに札幌市P協議会の国内研修団の団長とは連絡を取つており、最近も「雨大丈夫ですか?」と気遣いの連絡がありました。こういう機会があつたからこそ知り合いになれ、とても感謝しています。

またP.T.Aに関わることで数多くのいろんな人と出会い知り合えて、時にはぶつかり言い合いにもなりますが、本気だからこそそのぶつかりは後々お互いの成長へと変わつていけますし、本当に自分の財産になっています。

P.T.Aを離れてでもその繋がりは大事にしていきたいと思います。

はせでいたたきました。ありがとうございます。この経験を
のステージで、大いに活かせたらうと思いま
す。市への更なる発展を心より応援して
ます。

1年間お世話になりました。平成30年度はPTA卒業の年でしたが、P副会長の役をいたさざを感じているところです。平成20年度からPTAに関わってて、たくさんの出会いと、たくさんの経験をさせていただきました。これから地域の一員として「子どもたちのためにできることをやっていきたいと思います。

退任者挨拶



この3年間、県内外



前会長あいさつ

「時代を想い、次代へ繋ぐ」

熊本市PTA協議会
前会長 家入 淳

昭和20年、第二次世界大戦の中「熊本大空襲」により、熊本市の3分の1は焼失。ほどなくして終戦を迎えた。

このような被災した状況下の中であるにもかかわらず、日本が教育の民主化を目指す後押しをするように、わずか4年の後、昭和24年に「熊本市PTA協議会」（以下、市PTA協と称す）は、産声を上げました。

創立当初は、自分たちが食べるもの、社会教育関係団体としての歩みを始め、先輩会員の皆様により、これまでの長い歴史を紡いで来られました。熊本県PTA連合会（以下、熊本県PTAと称す）の中の一協議会として歩みを続けてきた本会ですが、平成24年、熊本市が政令指定都市移行に伴い、政令市PTA協議会（以下政令市PTAと称す）としての、新たな歩みを始めたことになりました。

平成28年6月に公益社団法人日本PTA全国協議会（以下、JPTAと称す）への直接加盟が叶い、全国64協議会・連合会と直接繋がることで、交流範囲も飛躍的に広がり、様々な情報交換を行うことができ、本会の想いも全国に

約2か月と迫ったときに、平成28年熊本地震が発災しました。まだ、JPTA正式加盟前であるため、本来であれば、紐解き、先輩会員の想いを振り返ることで、本会の存在意義の再確認や、加速度的に変わりゆく環境変化へ対応する術が身につく年になればと願うところです。

皆様にとっても、新時代を迎えた本年が新たな単Pの歴史の一歩に繋がることを祈念いたします。

あらためまして、平成30年度、熊本市PTA協議会会長の家入です。本日は、お忙しいなか、令和元年度熊本市PTA協議会定期総会へご参集いただき誠にありがとうございます。皆様におかれましては、日頃より本会の活動と理念に、「ご理解とご協力を賜りまして、心より感謝を申しあげますと共に、この一年間、皆様のご協力のもと、本会の活動を無事に全うできましたことを、ここに深く感謝いたします。

また、本日は公務ご多用の中、熊本市教育長遠藤洋路様はじめ、多くのご来賓の皆様をお迎えして開会できま

すことは大変光栄であり、心から御礼申し上げます。

さて、7年前、政令市PTAとしての歩みを始めた頃は、平成23年度総会決議のとおり、JPTAへの正式加盟を目指し、熊本県PTAとのより良い関係性を構築しながら、単独での歩みを進めてまいりました。市PTA協として何ができるのか、何をなすべきなのか、会員の皆様へのどのような学びの場や情報が提供できるのか、子どもたちの教育環境をよりよくするためにはどうすればよいのかなど、様々な壁にぶつかりながらも、子どもたちの明るい未来のために、関係諸団体などに連携・協力を仰ぎながら幾つもの壁を乗り越えてまいりました。

（6月1日熊本市PTA協議会総会での会長あいさつより）



熊本県PTA共済のご案内（熊本県PTA教育振興財団）

熊本県PTA共済は、熊本県にある小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校、高等専門学校のPTAを契約者として、これらの学校の教育活動やPTA活動の中で発生した事故による死亡・障害・負傷や、活動への参加に伴う急性の病気について、被災された方々に共済金を給付する制度です。これらの学校に在籍する児童生徒等の皆さん、PTA会員の皆さん（保護者、教職員）、PTA活動の支援者や部活動の指導者などが加入できるものです。

児童生徒等、部活動指導者（教職員、校長委嘱の外部指導者など）、プール指導者が対象のP災コースと、PTA会員（保護者、教職員、準会員）やPTA活動の支援者などが対象の安互コースがあります。

共済期間は・・・：学校などの年度に対応する1年間（4月1日から翌年3月31日まで）になります。期間の途中に追加加入することもできますが、共済期間は加入の翌日から年度末までとなり、この期間中に発生した事故が共済の対象となります。

学校管理下の事故にも対応します。

児童生徒の皆さんの学校管理下（登下校中を含む）の事故であっても、死亡あるいは後遺障害、歯科保険外治療、交通事故等の場合、本共済からも共済金が給付されます。また、PTA会員である加入保護者の方々が学校行事に参加中の事故にも対応しています。（入学式、卒業式、授業参観など、往復を含みます。）

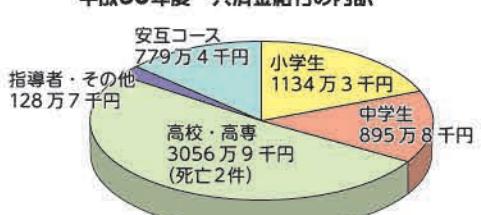
特別団体の新規加入はできません

本共済には「特別団体」制度があり、一定の要件を満たした「児童生徒にスポーツを指導するボランティア団体」が契約者となりP災コースに加入することができましたが、小学校の部活動の社会体育への移行に伴い、本共済がこれらの団体の活動中の事故に対応することができなくなりました。次年度以降、特別団体制度は廃止となります。

給付の具体例：

- ①小学生が登校中に転倒して、歯を破折し、保険外治療が必要になった。
- ②PTAの夏休みプール開放に参加した小学生が、更衣室のドアに足をはざめた。
- ③休日の部活動練習に自転車で登校中の中学生が交通事故にあった。
- ④部活動の練習試合に参加するため生徒を輸送していた保護者の車が追突され、運転手と乗せていた生徒が負傷した。
- ⑤夏休みの美化作業に参加していた保護者がスズメバチに刺された。
- ⑥PTAミニバレー大会の練習に参加した保護者が、アキレス腱断裂し手術を受けた。などなど・・・

平成30年度 共済金給付の内訳



熊本県PTA協議会 小・中学生総合保障制度（こども総合保険）のご案内

学校内外でケガをしてしまったら…

自転車を運転していて、ケガをさせてしまったら…

任意加入保険

小・中学生総合保障制度（こども総合保険）

お子さまを取り巻く様々な事故のリスクに対応します。

学校内外でのケガを補償します。

学校内外でのケガを補償します。

他人にケガを負わせたり

他人のものを壊したりした場合に補償します。

上記の他にも、病気補償・学校管理下運動補償・育英費用補償・被害事故補償など様々な補償でお子さまをお守りします。

●団体割引制度により保険料は約27%割引

当制度は、PTA団体加入制度のため、約27%保険料が割り引かれています。

5種類のプランの中からお選びいただけます。

1年間の掛金1,950円～。（プラン・補償開始日により、掛金は異なります。）

加入料金／年についてのパンフレットに案内している保険商品の算出基準である保険料（加入者数20名未満の団体における保険料）に対しての割合を示します。適用される割合は前年度の加入者数、過去の損害率等に応じて決定します。

次年度以降、割引率が変更となる場合がありますので予めご了承ください。

※補償内容、保険金額はプランにより異なります。



研修①では、講師に市P常任理事で龍田西小学校PTA会長の西本彰文様を迎えて、「いかに見てもらえるプリントにするか」ということを中心に、事例や配布文書の間違い探し等を行いました。

平成31年3月16日（土）に崇城大学で行われたプリント研修には、多くの参加者があり、研修会開始前から、自校での行事への参加者の募り方や配布文書の作り方等の意見交換を行う姿が見られました。

研修会が始まると、参加者はメモを取りながら熱心に講師の話に耳を傾けていました。

研修②では、講師に市P常任理事で龍田西小学校PTA会長の西本彰文様を迎えて、「いかに見てもらえるプリントにするか」ということを中心に、事例や配布文書の間違い探し等を行いました。

初めての「市P主催研修会」開催される

平成31年3月16日（土） 崇城大学

初めての「市P主催研修会」開催される

平成31年3月16日（土） 崇城大学

平成31年3月16日、崇城大学にて新任会長・市P担当副会長研修会が開催されました。新年度のスタートに向け、PTAに関する理解を深め、参加された皆様の不安の解消やモチベーションアップに繋げていただきたいとの趣旨により、開催時期を3月に変更して2回目となりました。

PTAとは？

Pペアレント（保護者）

Tティーチャー（先生）

Aアソシエーション（つながり）

といったPTA活動の根幹についてはもちろんですが、歴史的背景や、様々な組織や活動についての紹介等もあり、今回の研修会を通して多少は新任

会長・市P担当副会長としての役割についてイメージしていくいただくお役に立てたのではないか。

しかし、耳馴れないPTA用語や、

諸制度の話も多く、限られた時間の中

でございました。

そこで、PTAに携わる方々にも分かりやす

いようにお伝えしました。

